

時構書第1巻（1480年～900年頃）一南ネーデルラント一彩色・インク、金／獣皮紙一内藤コレクション



内藤コレクション

写本

しゃ

ほん

いとも優雅なる

ゆうが

ちゅうせい

しょううちゅう

中世の小宇宙

へようこそ！



この展示会の舞台はおおよそ800～500年前（中世）のヨーロッパ。

コピーやプリンターがなかった時代につくられた本「写本」を
たくさん見ることができます。

「美術館で本を見る？ 絵じゃなくて？」

そう思った人もいるかもしれません。

さあこれからさっそく行ってみましょう、まだ見ぬ写本の世界に…

会場
ルール

展示してあるものに
さわらない



ぶつからないように
はしらない



多くの人があるので
さわがない



この本に書くときは
えんぴつで



てんらんかい この展覧会でたくさん出てくる ことばたち

しゃほん 写本

人の手で書かれた本のこと。一文字ずつ書き写してつくるので、
完成するまでに長い時間がかかり、ぜいたく品でもありました。
さまざまな絵や飾りが描かれており、美術品としても楽しまれてきました。



ないとう 内藤コレクション

筑波大学・茨城県立医療大学名誉教授の内藤裕史さんが集めた作品のこと。
内藤さんは、写本リーフに「世界に1点しかない美」としての魅力を感じ、集めは
じめたと言います。国立西洋美術館はこれらをゆずりうけ、また内藤さんの友人
長沼昭夫さんの支援もいただき、190点ほどを収蔵しています。
「人の名前+コレクション」という書き方は「その人が集めたたくさんのもの」を
意味します。

てんれい せいむにつか じとう 典礼、聖務日課／時祷

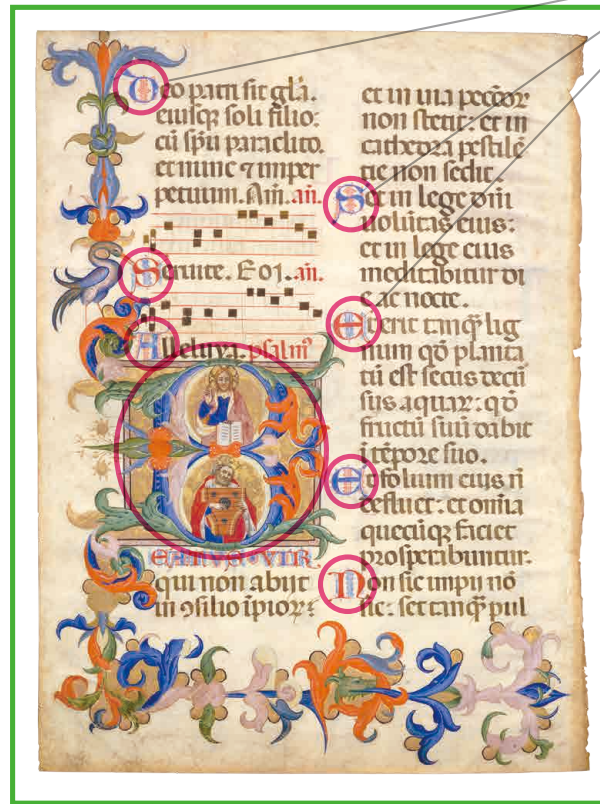
キリスト教カトリックの教会や修道院で神父さんなど聖職者が行う
お祈りを典礼と言い、特に1日8回決まった時間に行うものを聖務
日課と言いました。聖務日課にならって一般の人が行うお祈りが時祷です。
例えば、聖務日課聖歌集は、神父さんが聖務日課でうたう歌がたくさん書かれている
本のこと。この展覧会では、お祈りに関する写本がたくさん見られます。



イニシャル (○で囲まれた部分)

文章の最初の文字のことで、目立つ工夫がされているもの。
この作品では、Bという文字の中に人物が描かれている大きな
ものや、青と赤の飾りがついた文字も見つけられます。

カマルドリ会士シモーネ(彩飾) 一 典礼用詩集巻一(1380年頃) 一 イタリア、フィレンツェ 一 彩色、インク、金 一 獣皮紙 一
内藤コレクション(長沼基生)



れいよう リーフ／零葉 (□で囲まれた部分)

本や冊子から切り離された1枚の紙のこと。特に写本では零葉と言います。
現代の紙の多くは植物からつくられていますが、この頃のヨーロッパでは、
ヒツジなど動物の皮をうすく伸ばしたもの(獣皮紙)などがつかわれました。
この展覧会で見られる写本はリーフになったものがほとんどです。



まずはひとつ、作品を見てみましょう



典礼用詩編集零葉 (1320年頃) |
フランス、ランス (?) | 彩色、インク、金 / 獣皮紙 |
内藤コレクション (長沼基金)

描かれている人たちはどんな様子ですか？

- ❗ 2人の人物の上は神、下はお祈りしている人だと言われています。
他のイニシャルやまわりの飾りがどうなっているかも、あわせて見てみましょう。

次はちょっと雰囲気の違いの違う作品です



フランチェスコ・ダ・コディゴロ (写字)、
ジョルジョ・ダレマーニャ (彩飾) |
「レオネッロ・デステの聖務日課書」零葉
(1441-48年) | イタリア、フェラーラ |
彩色、インク、金 / 獣皮紙

絵や飾り、イニシャルなどをじっくり見てみましょう。
あなたはどんなところが気になりますか？

- ❗ 展示会では裏側のページも見られます。くらべて見てみましょう。

これは聖務日課でつかうもので、
木曜日の朝にうたう歌が書かれています。
楽譜のような線も見えますね。
ひときわ大きなイニシャルSの中を見ると、
2人の人物が描かれています。

祝日の聖務日課では特別なお祈りがあり、
そこで朗読する内容が書かれたリーフです。
たくさんさんの金や細い線でいろいろられています。



これは教会や修道院^{しゅうどういん}ではなく、お家でのお祈りでつかわれていた写本のリーフです。
 これまでに見た作品とは、どんなところが違いますか？



あなたのお家にこのリーフがおさまった写本を置いておくとしたら、
 どんな場所に置きますか？
 どんな表紙をつけたいですか？

これらの作品が生まれたときやお祈りにつかわれているときのことを、私たちは想像することしかできません。しかし、細かく工夫してつくられている様子を見ると、写本にはとても多くの技や時間がかけれ、人々に大切にされてきたことが伝わります。

一緒に見た作品はたった数点でしたが、会場ではもっとたくさんの写本リーフがありました。

あなたの印象に残ったのはどの作品でしたか？

展覧会の感想などを書きとめて、まとめましょう。

表紙右下：聖務日課聖歌集零葉（部分）（1400-20年頃） | ドイツ北部、ライン川下流域ないしヴェストファーレン地方 | 彩色、インク、金／獣皮紙 | 内藤コレクション（長沼基金）

内藤コレクション 写本 — いとも優雅なる中世の小宇宙

会場 | 国立西洋美術館

会期 | 2024年6月11日（火）～8月25日（日）

9:30～17:30（金・土曜日は20:00まで）※入館は閉館30分前まで

休館日 | 月曜日、7月16日（火）※ただし7月15日（月祝）、8月12日（月祝）・13日（火）は開館

主催 | 国立西洋美術館、朝日新聞社



詩編集零葉（部分）（1250-60年頃） | 南ネーデルラント、おそらくヘント | 彩色、インク、金／獣皮紙 | 内藤コレクション

名前

日付

年

月

日

ジュニア・パスポート

制作・発行 | 国立西洋美術館

執筆・編集 | 秋田美緒（国立西洋美術館）

デザイン | ララスー・デザイン 2024 © 国立西洋美術館

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art